

【書の一本道に感謝】 小豆支部 吉岡 敏晴
 この度、お祝いをいただき厚く御礼申しあげます。私をとり巻く多くの方々のお蔭で、長らく、書の一本道を歩ませていただきおり、書の仲間や教室連に囲まれて、一笑一少、一書一少の、毎日書くことの、また書かせてもらえる、書ける幸せを味わい、感謝一杯で居ます。

【恙なき日々に感謝】 小豆支部 八木 知之
 寿詞と記念品有り難うございます。幸い健康に恵まれ老後を楽しんでをります。僅かばかりの果樹と野菜づくりに健康維持のため頑張っています。現在は俳句に特に力を入れ、新聞、雑誌などに投句しています。その結果に一喜一憂です。卒寿までは頑張ります。

【人との交流】 大川支部 葛西 利彦
 退職して、作業所の所長として10年、その後、10年は老人クラブの運営に関わるなど多忙な生活を送ってきました。最近、グランドゴルフに出かけ、共に練習したり、大会に参加したりしています。ただ、練習半分、おしゃべり半分という状況です。ですが、多くの方と交流することを大切に過ごしています。

【健康第一】 大川支部 安部 武
 退職して体調を崩し、約1年間は治療に専念していました。その後、歩く距離を少しずつのばし、2～3km、約20分～30分歩くようになりました。その結果、体調もよくなり、野菜や花づくりをしたり、主任児童委員や神社の総代等をしてしました。今は、畑仕事や音楽鑑賞をして過ごしています。

【これからの道】 大川支部 亀井 達男
 私達は、米寿と卒寿。コップ一杯の自作野菜ジュースから一日はスタート。バランスのある食事への心掛け健康に気をつけて歩くこと3km。楽しいプチミュージカルの公演。この三本柱としても高齢のこと嬉しさの中には一抹の淋しさも…。助け合い励まし合い前に向かって歩きます。

【米寿を迎えて】 木田支部 多田 澄子
 振り返ると 米寿のお心遣い有難うございました。多くの方々に教えられ励まされての年月でした。お世話になった多くの方々に感謝し、残された日々を明るく楽しく過ごしたいと思います。

【感謝！】 香川支部 小比賀剛一
 香川県退公連の皆様へ感謝感激!!
 今、私は今を生きています。一生懸命生きています。いついつまでも生きています。
 限りある人生を精一杯。元気に一生懸命!!

【その後】 綾歌支部 浮田 春男
 38歳の時父が死亡、その後地元の水利組合の代表として事務処理等の仕事を受け継いだ。堤防の全面改修、本水路の完全舗装化、機械水門の設置、香川用水の揚水の認可等々、約15年かけて実現した。退職した今も、相談役として残っており、自治会長や八幡神社の世話等仕事も苦にせず、気楽に暮らしている。

【感謝】 綾歌支部 大林 恭子
 この度、米寿のお祝いを頂きありがとうございます。退職後、地元の婦人会長や公民館運営協議会会長としてお世話になった地域の皆様方に少しでも恩返しをすることができました。今は、週一回、近くの公民館へ通うのが楽しみの一つです。

【古新聞でエコバッグ作り】 綾歌支部 谷 充子
 米寿のお祝いありがとうございます。
 私は十年位前に、あるきっかけで折り紙をしはじめました。その時、エコバッグのニュースが流れました。エコバッグは、どうしたらできるんだろう。やってみました。今は、エコバッグと折り紙で時間をつぶしています。(強い物に、使い易い物にと考えながら…)

【楽しみはもう少し先】 仲善支部 牛田 昌子
 この度は、お祝いの品を有難うございました。昔の職場の仲間達で久しぶり会う約束ができた途端にコロナ発生です。その上、猛暑続きで我慢の夏でした。我慢には慣れている世代の私達ですので、よい日が来るのを楽しみにじっと待つことにします。

【植物は 正直】 仲善支部 氏家 誠子
 常識では経験済みだが今回は、はっきり見れたので。根づまりで色あせたハイビスカスの鉢。体調を理由に水やりだけの毎日だったある日、肥料をやると数日後から徐々に変化！今では次々と花まで。人間も同じ。
 身心の栄養吸収で余生を元気で明るく過ごしたい。

【有難うございました】 仲善支部 塩入 咲子
 退職記念に主人の車で北海道行き当りばったり一カ月旅行。民生委員、心配ごと相談員、婦人会、独居老人へ弁当や花束配り等ボランティア活動、趣味、外国旅行と充実生活が一変し、主人の介護5年。7月末誤嚥性肺炎になり入院中。人生のどん底だと思っていたところ、退公連より米寿の賀詞と記念品をいただき嬉しく誠に有難うございました。

【囲碁を楽しむ】 三観支部 小林 正志
 多くの方に支えられ、米寿を迎えてますます健康に過ごしている。未熟な囲碁も勝ったらうれしい。できるだけ公民館へ通って先輩から教えてもらい、少しは上達した気もする。仲間と楽しく過ごすことは、心身の健康に良い。今後もできる限り打てたら最高だ。

【これからも元気で趣味に生きたい】 三観支部 磯崎 孜紀
 米寿のお祝いをしていただき、誠に有難うございました。この年齢まで無事に生きてこれたのは、両親はじめ多くの方のおかげだと深く感謝しています。
 体力や機能は随分衰えましたが、パートナーに迷惑をかけずに、ゴルフを続けたいと願っています。

編集後記
 長寿の方々からの後進の会員への温かいメッセージに勇気や元気をいただきました。これからも、ますますご健康で長生きしていただきたいと思います。
 新型コロナウイルスの感染拡大防止のために退公連の様々な活動が自粛され、会員の皆様もかつてないような生活スタイルの日々ではないでしょうか。「相撲甚句」のように、コロナ退散、切に、願っています!!

訂正し、お詫び申し上げます。
 前号79号での
 坂出支部事務局長 漆原恵子→恵子
 三観支部副部長 宮崎史郎→宮崎
 三観支部貢献活動部 藤田善秋→岸上和代

香川県退職公務員連盟会報

高松市西宝町二丁目6番40号
 財香川県教育会館内601号
 電話・FAX 087(833)1483

香川県退職公務員連盟第13回研修会

仲善支部 紙上発表

研修テーマ

会の社会的存在価値を高める活動の推進

1 仲善支部の歩みと課題

(1) 会の発足及び目的
 昭和25年、香川県退職公務員連盟の発足と同時に本支部もスタートした。
 支部規約には、「会員相互の団結により、その福祉を増進し社会的地位の確保と向上をはかり、進んで社会文化向上進展に寄与貢献するを以て目的とする。」と本会の目的が記されている。

(2) 組織
 ① 会員数
 資料によると、会員数は下記の通りである。
 平成11年度 513名 (内準会員32名)
 平成20年度 421名 (内準会員27名)
 平成30年度 325名 (内準会員26名)
 令和2年度 283名 (内準会員26名)

② 専門部
 <平成18年度まで> 女性部のみ
 <平成19年度～29年度>
 女性部、福祉部、組織部、広報部
 <平成30年度～>
 女性部、組織部、広報部
 社会保障対策部、社会貢献活動部
 上記の過程を経て、5専門部に再編成された。

(3) 課題
 ○会員数の減少
 ・社会の変化(年金制度の変化と再任用)
 ・意識の変化による新会員の入会者数の減少
 ・高齢化による退会者の増加
 ○会員数の減少に伴う会計規模の縮小
 ○会員の高齢化による活動の停滞、研修会等の参加者の固定化
 (4) 課題解決への取り組み
 専門部の再編成を転機ととらえ、
 ① 会員が魅力を感じる活動を探っていく
 ② 会員が参加しやすい研修会にする
 このことが会の社会的存在価値を高め、さらなる会員の確保につながると考え、活動を行う。

2 主な実践活動

(1) 平成29年度までの活動
 女性部や地域の世話係を中心に下記の活動が熱心に行われていた。
 昔遊びの伝承、戦争体験を語る、料理教室、使用済み切手・書き損じはがきの収集、長寿会員のお宅訪問、健康増進のための体操教室、メール教室、日帰り旅行、会員の演奏や作品の鑑賞、折り紙・造花・竹細工教室等

(2) 平成30年度以降の専門部の実践
 ① 女性部
 会員相互の親睦活動並びに身近な福祉的日常活動を男女共同参画で推進する。

<活動の実際>
 6月下旬 一日研修旅行下見
 10月下旬 一日研修旅行
 令和元年度は、第17回目となり、「線香工場見学とお香づくり体験の旅」(淡路島方面)を行った。
 下見を実施することで、行程を検討し、誰でもが参加しやすいものにした。また、体験活動を取り入れ、身近な文化や企業の再発見等、個人では見学できない目的地を選択してきた。
 今後は、参加者を増やすために休日に実施する予定である。



<令和元年度一日研修旅行>

② 組織部
 日常の活動を通じて連携の輪を広げ、組織の充実と会員数の増加を図る。
 <活動の実際>
 3月末 ・新規退職者の名簿づくり
 4月上旬・入会案内や資料づくり(会員だより等)
 年間を通して、過年度退職未加入者への再勧誘
 今後は、年金受給年齢65才の未加入者への再勧誘や未加入者への研修会参加の呼びかけを行うなど活動内容を広く周知する。

③ 広報部
 会員相互の連携と情報交換のための会報を発行する。会員に役立つ情報や資料を収集し適時提供する。
 <活動の実際>
 機関紙「たいこうれん通信」 年3回発刊。
 機関誌「会員だより」 毎年3月に発行。
 会員による表紙絵と題字がかざっている。
 平成30年度は、20号記念特集号を発行。
 各専門部の活動報告や近況報告等、会員相互のつながりの場としての役割を果たせるよう工夫している。



<20号記念特集号表紙>

④ 社会保障対策部
 公的年金制度、医療制度、介護制度など社会保障に関する研修会等を開催して会員意識の高揚を図る。

<活動の実際>

平成29年度より、年金についての研修会を4年間継続して実施している。

平成29年度 「年金制度について一緒に考えてみませんか」

平成30年度 「年金について考えよう② 社会の変化に対応しつつ」

令和元年度 「年金について考えよう③ 年金制度のつぼ」

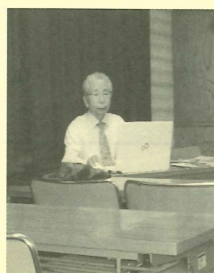
令和2年度 「年金について考えよう④ 一民法改正と遺族年金について」

講師 前香川県退職公務員連盟副会長 森田武雄 氏

また、会員の要望に応え、介護制度の研修も実施。令和元年度 「介護保険制度の内容やサービスについて知ろう」

講師 まんのう町福祉保険課地域包括支援センター 課長補佐 岡崎みさを 氏

研修会は参加者大変好評であった。多くの人の参加を得るために本年度は休日に実施し、会員以外の方にも広く声をかけることにしている。



<令和元年度研修会>



<長寿会員の訪問>

令和元年度 会員が参加しやすいように夏期休業中に「飛び出すカードづくり」の研修会を実施する。研修会や機関紙「たいこうれん通信」で地域での活動の参加を会員に呼びかけた。

公民館活動に参加して、子どもたちや保護者の方とカード作りを楽しんだり、高齢者の方の交流活動に参加したりして、活動の場を地域に広げることができた。



<地域の子どもたちと>



<高齢者の方々と>

今後は、地域の文化活動の継承にも目を向け、「佐文綾子踊」の継承者にお話を聞く予定である。

3 仲善支部の取り組みの成果と課題

(1) 成果 専門部の再編成により、活動の見直しを図り、研修活動の深まりと広がりが見られた。小集団だからこそこできる研修の充実を行った。また、研修会資料等の適時配布も行えた。

(2) 課題 さらに会員確保と連携を深めるため、過年度退職未加入者への研修会等への参加呼びかけと入会勧誘を継続する。

⑤ 社会貢献活動部

会員の持つ技能や経験を地域活動やサークル活動で生かして社会貢献に努め、生きがいを充実させるとともに会の社会的存在価値を高めていく。

<活動の実際>

平成30年度 会員に講師を依頼し 「飛び出すカードづくり」の研修会を実施する。



<飛び出すカードづくり>

特別寄稿 「相撲甚句 コロナ退散 アマビエに願いを！」

香川支部長 穴吹 忠義

「相撲甚句 コロナ退散 アマビエに願いを！」のタイトルで曲が完成したのが7月でした。日本では5月末には非常事態宣言が解除され、一旦コロナ感染が収束するかと考えられていたが、その後再び感染が拡大し世界で猛威を振っている状況下で、私たちにできることは一日も早い収束を疫病退散にご利益があるアマビエをお願いすることぐらいしかできないと思い立ち作りしました。この曲は、私が作詞した32曲目の作品です。これまでは地元香川県に関係ある名所・旧跡や名物・人物などをテーマにしたり、歌詞に織り込んで作詞してきましたが、今回は「新型コロナウイルス」の感染が拡大して、感染者や死亡者の増加で毎日暗いニュースが多い中で、少しでも私たちが前向きで元気になれるようにという願いを込めて作りしました。

8月初旬に新聞の記事として掲載されると同時に電話やメール・問い合わせなどが殺到し、多くの方がコロナに対して深い関心を持っていることを改めて感じました。

私たちは毎日「コロナの感染」を意識して不便な生活を強いられていて、早く普通の生活に戻りたい願望の表れだと痛切に思いました。最後に、歌詞を紹介して終わりにします。

相撲甚句 コロナ退散 アマビエに願いを！
コロナの収束 甚句によればヨ
ア ー 悪い病を 鎮めたい
江 戸 の 時 代 の 瓦 版
肥 後 の ア マ ビ エ 沖 合 に
妖 怪 の 國 は 驚 け 付 け だ
村 人 た ち は 驚 け 付 け だ
そ こ で 役 人 駆 け 付 け だ
人 魚 の よ う な 出 で 立 ち だ
今 後 占 う お 告 げ あり
六 年 間 の 治 療 と
今 の 疫 病 の 治 療 と
私 の 姿 絵 に 描 いて は
多 くの 人 に 広 め よ
こ れ ぞ 願 望 の ヨー ホ ホ イ

作詞 穴吹 忠義
作曲 川崎 幸一



令和2年に白寿 米寿を迎えた方

今年度は、7名の会員が白寿、71名の会員が米寿を迎えられました。心よりお祝い申し上げます。さて、全員の皆様から後輩へのメッセージを戴きたいところですが紙面の都合で下記の方々のみになりました。貴重な人生訓として会員の皆様の心に届くよう願っています。長寿の皆様の益々のご健康とご活躍をお祈りさせていただきます。(敬称を省略させていただきます)

- 白寿
○高松支部 大屋鋪敏子 ○坂出支部 津山 静子 ○仲善支部 有信 保福 和泉 貞子
○綾歌支部 徳永 忠昭 ○三観支部 高橋 文子 今井 彌生
米寿
○高松支部 上野 文子 上井 茂子 宮脇恵美子 福家 国子 竹内登與子 溝渕 昭七
山本 正幸 三好 弘 大坂 美幸 小野 惟夫 多田 時子 野村 美栄
畑田 信子 宮武 勤子 岡 洋子 藤田ハナ子 浅田 秀子 井上 仁子
壺井 敦子 辻 正 喜岡 良壽
○丸亀支部 川口 崇 松本 義子 末継 美子 林 不美子 眞光 勲 亀井 武子
久利 文男
○坂出支部 杉崎 正則 三好 正則
○小豆支部 三木 倍美 中岡佐智子 柳 智子 八木 知之 吉岡 敏晴 田中千恵子
○大川支部 永峰 藤雄 後藤宇之松 安部 武 六車 悌 後井 茂 亀井 達男
田村 裕子 葛西 利彦 今田 靖夫
○木田支部 細川 英子 氏部田鶴子 多田 澄子
○香川支部 小比賀剛一 溝渕 敬
○綾歌支部 谷 充子 平田 道子 浮田 春雄 大林 恭子 福家 定子 古川ケイ子
尾崎 幸男
○仲善支部 牛田 昌子 林 太朗 澤野 英子 塩入 咲子 横田 繁子 氏家 誠子
川口 安榮 片岡 澄子 山地 一榮 川口 利夫
○三観支部 小林 正志 磯崎 孜紀 安藤 文雄 白川 安男

白寿の方からのメッセージ

【継続は力なり】 高松支部 大屋鋪敏子
高齢社会の今日、長寿で明るく健やかに老いたい。63歳で乳ガン自己早期発見摘出後、30有年、公民館で「命の貯蓄の体操」に取り組む。95歳から自宅で要の操法等を毎日継続。健康でお蔭様の人生唯々感謝あるのみ。
四世代 生き抜き迎え 白寿 合掌

【米寿を迎えて】 高松支部 山本 正幸
香香連から長寿の秘訣を問われました。顧みると、これまで私は出来るだけ体を動かしてきました。人も動物の一種です。一般に、動物の特徴は感覚、運動と言われてきました。これからも出来るだけ五感を働かして体を動かしたいと思っています。

米寿の方からのメッセージ

【練習で泣いて、勝負に勝つ】 高松支部 宮脇恵美子
当時私は、高校3年生。私は、ソフトボール部のキャプチャーでキャプテンでした。昭和24年秋、高松中央球場での決勝戦！何と全校生の応援空しく、1対0で敗れてしまったのです。……あの日のくやしきは今でもはっきりと覚えています。練習で泣いて勝負で笑えるような努力を心がけたいものです。

【高齢化社会】 丸亀支部 亀井 武子
新型コロナが騒がれ始めて半年余り。パンデミック、ロックダウン等、耳慣れない言葉に苦勞。高齢者は重症化に「家には高齢者が2人も居るから気を付けて」「いや3人やで、お父さんも、60歳や」と孫が言う。もうそんな年齢になったかとの感慨と高齢者社会を納得する。

【一日一汗】 高松支部 喜岡 良壽
退職時一通の色紙を先輩から頂きました。そこには「腹八分 くよくよするな 無理するな お洒落忘れず毎日歩け」と書かれていました。以来、これを基本に「一日一汗」を加えて今日まで歳を重ねました。

【一切 感謝】 丸亀支部 松本 義子
毎日元気で一人暮らしをしています。周りの人に助けられて「ありがとうございます」ゆっくりですが自分で出来たことに「ありがとうございます」と声に出して喜んでいます。この度の寿詞と記念品、真に「ありがとうございます」仲間がいることは無上の喜び、一切感謝です。

【お礼】 高松支部 三好 弘
この度、米寿のお祝いに寿詞と心温まる記念品まで戴き、誠にありがたく心よりお礼を申し上げます。これまでお世話になった皆様に感謝しつつ、健康には、「体を動かし続け使い続けること」が大事と歩くこや庭いじり等に努めています。有難うございました。

【3人の白寿・米寿の方々に乾杯！】 坂出支部
9月14日、台風のため延期していたご長寿の方々のご自宅を訪問した。コロナ下の状況を考慮しつつ玄関前での日射し満開の交流となった。印象的な言葉多々の中で「長生きして本当に良かった。良い物をいっぱいもらって今日は今までで一番うれしい日や」と涙を流しながら笑顔での話は我々への贈り物となった。